

3月定例会の一般質問から

平成23年度当初予算 3分野へ優先化・重点化

問

23年度の一般会計当初予算は、前年度比1.5%増の1839億6千万円と過去最大になっており、限りある財源を効果的・効率的に活用し、必要な施策・事業に十分に取組んだ予算と評価する。

①予算の特徴と力を入れた点は。
②基金と市債について、どのような考えのもと活用しているのか。

答

①「子育て支援の充実」「中心市街地の活性化」「産業力の強化」の3分野に優先化・重点化を図り、さらに、中小企業への経営支援や、雇用の創出と安定、前年度予算を上回る市単独建設事業の確保など、市内経済の活性化対策に積極的・継続的に取り組むこととした。

また、事業の総点検などによる10億円を超える事業のスクラップや、収納対策の一層の強化など持続可能な財政構造の確立に向け取り組んだ。

②市税収入の大幅な伸びが見込めないなど厳しい財政環境の中で、市民生活の安定と市内経済の活性化を図るためには、各種基金と市債の活用が大変重要であると考えている。

このため、23年度予算では財政調整基金や減債基金に加え、公共施設等整備基金を新たに公共建築物の長寿命化対策の財源として活用するほか、市債についても残高が増加しない範囲で市単独建設事業などの財源として最大限その活用を図った。

南図書館に指定管理者制度を導入 利用しやすいサービスの提供へ

問

南図書館の開館について伺う。

①(仮称)第3図書館は南図書館に、市立図書館は中央図書館にする提案だが、今後の各図書館の位置づけをどう考えているのか。

②書架の更新、展示スペースのあり方などについて、抜本的・統一的に検討されるべきと思うがいかがか。

③南図書館は指定管理者制度を導入するが、いかなるサービスの改善提案が行われるのか。

答

①市立図書館は、全体業務を統括する機能をあわせ持つ中央図書館とし、(仮称)第3図書館は子どもに関するサービスを中心とする図書館として位置づけたところである。他の館についても、科学技術・ビジネスや地域性を

いかした資料の収集・提供サービス等特色とする図書館として位置づけたところであり、これらを踏まえ、図書館全体の体制などについて、23年度内の取りまとめを目的に検討しているところである。

②施設や設備面における統一的な更新は、図書館全体の再整備の考え方を整理していく中で検討していく。

③開館日の増加や開館時間の延長を図るとともに、交流スペースでは新たに飲食・物販事業を展開するなど、市民にとって、より使いやすい図書館としていく。



▲7月開館の南図書館の一般開架スペース

奈坪川の河川改修工事の 早期完成を

問

奈坪川の河川改修について伺う。

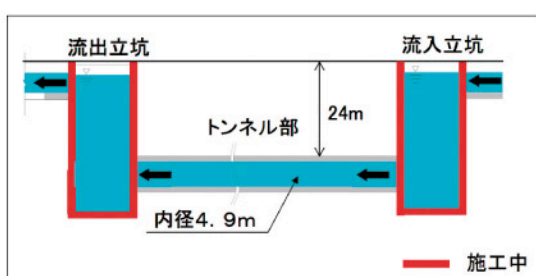
①現在、駅東地区で整備を進めている奈坪川のトンネル工事の進捗状況と、今後の工事計画は。

②競輪場通りから上流部の今泉新町、東町、岩曾町、御幸ヶ原町などの被害を受けている地区に対し、どのような事業計画で推進するのか。

答

①白楊高校の西側において、トンネル河川の入口部分となる流入立坑(りゅうにゅうたてい)工事(たけ)を20年度から進め、出口部分となる流出立坑(りゅうしゅつたてい)工事(たけ)は、22年9月から工事に着手して現在施工中であり、また、トンネル本体の工事については、今年度の秋頃を予定している。

②これまで、今泉新町や東町において、地権者や関係者の協力を得ながら、用地取得や建物の移転を進めてきた。また、岩曾町や御幸ヶ原町などにおいて、現況測量を実施し、河川改修計画の策定を進めているところであり、現在、整備中のトンネル河川工事の完了後、計画的に着手していく予定である。



▲トンネル河川のイメージ図

※浚渫…川底に堆積した土砂を取り去ること。